

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(上柴西小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
上柴西小	下回った	下回った	下回った	下回った	下回った	下回った
埼玉県	52.5	62.8	59.3	66.2	48.3	52.4

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
上柴西小	5-C	6-C	6-B	4-A	5-B	6-C
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
上柴西小		2	1		1	3
埼玉県		3	2		2	2

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
	質問事項	上柴西小	埼玉県	上柴西小	埼玉県	上柴西小	埼玉県
深谷の子6つの誓い	・将来の夢や目標を持っている	93.8	90.6	91.4	88.5	83.3	83.9
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	69.1	78.6	78.5	77.0	63.9	77.4
	・自分からはつきり挨拶をすることができます	79	81.5	90	82.0	75	84.5
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができている	80.3	77.8	85.7	80.7	91.7	87.4
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	86.4	85.5	94.3	86.9	87.5	89.4
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	61.7	54.2	52.9	49.2	45.9	51.6
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	43.2	52.8	52.9	54.0	56.9	53.9
学習等への関心	・授業で学んだことを、日常の生活に生かせると感じた	76.6	75.6	84.2	76.0	79.2	77.5
	・将来どの学校まで進みたいと思いますか【大学以上】	26	36.6	35.7	67.4	22.2	40.0
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	70.4	73.5	72.8	70.5	61.1	66.5
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	81.4	78.6	87.1	74.1	62.5	69.0
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	74	75.9	88.5	79.8	73.6	80.3
	・国語や算数の授業で、週1~2回程度以上タブレットを使っていた(2項目の平均として)	45.7	45.1	45	48.9	68.1	57.1
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	30.8	21.6	38.6	24.5	48.6	23.4
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	96.3	94.2	100	94.8	91.7	94.8
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	77.8	85.3	91.4	90.0	86.1	92.4
	・学級での生活は楽しい	96.3	94.4	98.6	92.8	91.7	92.3

【質問紙分析】

- ・多くの項目で県の割合を上回るなど、全体的に見ると児童の意欲・関心・満足度は高いといえる。
- ・「授業で学んだことを、日常の生活に生かせると感じた」「授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った」割合が県の割合と比べて高いのは、タブレットを効果的に活用したり、授業において協働学習を効果的に取り入れたりした結果と考えられる。
- ・「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」「休み時間などの学校が休みの日に1日あたり1時間以上勉強している（塾等を含む）」割合が県の割合と比べて低いのは、学習への興味が湧かない、勉強が将来どのように役立つか分からないと感じている児童がいるからと考えられる。そのため、日々の授業を充実させ、分かる授業を行う必要がある。また、今の学習が将来どのようにつながっていくかを実感させる必要がある。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・伸びが見られた学級では、自身の進度に合った問題を選んだり、多様な児童の考えを交流する共同学習を取り入れたりすることで、下位層だけでなく中間層も引き上げることができたと考えられる。
- ・伸びが見られた学級では、意味や定義などを説明させる活動を授業の中で意図的に取り入れていたため、思考力や表現力を高めることができたのではないかと考えられる。
- ・伸びが見られた学級では、授業だけでなく家庭学習や朝学習で繰り返し学習することで、基礎基本の定着を図ることができたと考えられる。

【国語】

- ・伸びが見られた学級の国語では、教材文の音読や短文作り、主語のおさえ、意味調べ、などを家庭学習でも行い保護者にも見てもらうなど、家庭と連携することで指導の充実を図ることができたと考えられる。

【算数】

- ・伸びが見られた学級の算数では、授業最初または最後の短い時間で計算問題やおさらいミニプリント等に取り組むことで、学習内容の理解や学習への意欲へとつながったのではないかと考えられる。
- ・伸びが見られた学級の算数では、練習問題を取り組む際に、教師が問題数や時間を調整して最後まで見届けることで、児童が最後までやりぬく力がついたと考えられる。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・朝学習の時間で、前単元や基礎的な内容の復習等を行っていく。
- ・デジタル音声に合う速さで読むことができるよう音読テストを実施していく。
- ・学習したことや学習の流れなどが分かるような掲示物を作成し、いつでも見られるようにしておく。
- ・既習事項や授業の振り返りを行い、学習内容の確実な定着を図っていく。
- ・学力向上PJが良い結果につながるものもあった。そのため、今後も大切に取り組んでいく。
- ・研修等で、苦手な領域を分析し、ポイントを絞り反復学習をしていく。
- ・読み取りの問題に課題があった。そのため、本調査のような問題に慣れることができるよう、朝学習や授業等で類似問題を解く機会を意図的に設定していく。
- ・課題である国語では、インターネット等からの情報が多いため、やみくもに情報を得ていると考えられる。そのため、「辞書を引く」、「慣用句を調べる」、「文章を読んだり書いたりする」、「インタビューをする」等、能動的に言語に触れ使う機会を授業に取り入れていく。
- ・課題である算数では、特に記述する問題において無解答が多くなっている。普段の授業から自分の考えを順序立てて説明したり、友達の考え方を説明したりする活動を取り入れながら、論理的に説明する力を身に付けさせていく。